

令和元年度事業報告書

1 県民活動の支援に関する事業

実施事業	R元年度(計画)		R元年度(実績)	
	回数等	人数等	回数等	人数等
(1) 県民活動支援のための講座開催				
ア NPO活動などの県民活動を支援する事業 県民活動を支援するため、NPOの運営に必要な知識を学ぶ講座や、NPO活動・ボランティア活動を体験する講座、地域づくりの手法を学ぶ講座等を実施した。 ▽NPO基礎講座 ▽シニア共助担い手マッチング事業 ▽学習支援ボランティア推進事業 ▽子どもの居場所サポーター養成事業	19回	920人	25回	1,184人
イ 市民講師を養成する講座 市民講師を体系的に養成する講座を実施し、市町村生涯学習施設での活動を促進するとともに、市民講師の資質向上を図るための講座や情報交換の場の提供を実施した。 ▽市民講師塾 ▽まなびあいセミナー ▽市民講師活用講座 ▽市民講師協働講座 ▽市民講師スキルアップセミナー ▽市民講師交流会 ▽市民講師活動支援事業	36回	730人	32回	625人
ウ いきいき生活講座 県民の多様な学習意欲に応えるため、ITや文化教養、趣味に関する講座を実施した。 ▽心を豊かにする公演事業 ▽情報化対応力支援講座【シニア編】 ▽学びを深め学びを活かす講座 ▽暮らし創り応援講座 ▽健康づくり支援講座 ▽アクティブラーニング事業	83回	4,180人	81回	3,681人
(2) 団体活動支援事業				
ア 県民活動団体支援事業 活動団体の活性化に資するため、活動団体と協働で事業を実施した。 ▽NPO協働事業「子どもの未来を拓く映画会」 ▽オリンピック・パラリンピック応援事業	11回	540人	11回	1,310人
イ 次世代育成支援事業 子育て支援団体等と連携して、親子が気軽に参加できる交流会や子ども向け遊び体験学習等を実施した。 ▽子育て支援団体協働事業	10回	300人	9回	262人
(3) 彩の国市民活動サポートセンターの運営	通年	—	通年	—
NPO活動、ボランティア活動に関する相談や情報提供等を実施するとともに、県内市町の市民活動サポートセンター関係者を対象に、研修会を実施した。 ▽NPO・ボランティア相談コーナーの運営 ▽NPO税務会計相談会 ▽埼玉市民活動サポートセンターネットワークの運営 ▽シニア活躍サポートデスクの運営				
(4) 情報センターの運営	通年	—	通年	—
県民活動に関する図書・資料を提供するとともに、生涯学習・県民活動に関する企画展示を実施した。				
(5) 彩の国いきいきフェスティバルの開催	1回	20,000人	1回	19,716人
県民活動団体に対して、日頃の活動成果の発表の場、世代を超えた交流の場を提供するとともに、県民活動総合センターで各種イベントを開催し、県民活動の活性化を図った。				

<p>(6) 埼玉県県民活動総合センターの運営 県民活動総合センターの指定管理者として、施設を適切に維持管理し、県民の利用に供した。 また、各種広報活動や利用促進イベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▽県民活動団体等への貸出 ▽保育サービスの運営 ▽広報紙「けんかつ」の発行 ▽ホームページの運営、メールマガジンの発行 ▽地元自治体、公的団体等との連携による賑わいの創出 <ul style="list-style-type: none"> けんかつパラフェスタ けんかつ夏まつり けんかつブルワリーフェスタ ジャズフェスティバル 彩の国いきいきフェスティバル(再掲) けんかつ鉄道フェア 子ども夢未来フェスティバル コバトン食堂ジャズライブ 大学連携講座 企業等連携講座 けんかつグリーンスクール(おさらい教室) けんかつひる市 けんかつレンタサイクル 	<p>通年</p> <p>通年 通年 12回 通年 通年</p>	<p>750,000人</p> <p>— — 各12,500部 — —</p>	<p>通年</p> <p>通年 通年 12回 通年 通年</p>	<p>728,659人</p> <p>— — 各12,500部 — —</p>
<p>(7) NPO活動促進助成事業 NPO法人の活動を促進するため、埼玉県NPO基金を活用したNPO法人への助成金交付に係る審査事務等を実施した。</p>	<p>通年</p>	<p>—</p>	<p>通年</p>	<p>—</p>
<p>(8) 附帯サービス事業【収益事業】</p> <p>ア 飲食等提供事業 利用者サービスの向上のため、飲食等の提供を行った。 ▽県民活動総合センター内での食堂・売店・自動販売機の運営</p> <p>イ 駐車場の管理運営 利用者サービス向上のため、駐車場の運営を行った。 ▽県民活動総合センターの駐車場の管理運営</p> <p>ウ キャリアアップ支援講座開催 専門的知識やスキルを習得し、キャリアアップに役立つ講座を開催した。 ▽活躍支援講座 ▽情報化対応力支援講座【活用編】</p> <p>エ 埼玉の魅力発信コーナー及びコピーコーナー運営事業 埼玉にゆかりのある企画展示や県産品の紹介・販売を行い地域の魅力を発信した。 各種資料づくり役立つコピー機、印刷機、製本機、紙折機等を設置した。 ▽埼玉の魅力発信コーナー ▽コピーコーナー運営事業</p> <p>オ その他、利用者の便宜を図るためのサービス</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>27回</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>620人</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>26回</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>561人</p> <p>—</p> <p>—</p>

2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

実施事業	R元年度(計画)		R元年度(実績)	
	回数等	人数等	回数等	人数等
(1) 彩の国いきがい大学の運営				
ア 彩の国いきがい大学の運営 高齢者の地域活動の促進のため、活動に必要な知識や技術を習得する機会を提供した。 ▽共通カリキュラムの学園(8学園(久喜・熊谷・入間・和光・川越・蕨・嵐山・春日部)) ▽伊奈学園(6学科) ▽プラチナコース(2コース)	10学園 ・コース	1,240人	10学園 ・コース	945人
イ 彩の国いきがい大学特別講座 いきがい大学を広く周知するため、高齢者を対象とした講座を開催した。	2回	200人	2回	353人
ウ 彩の国いきがい大学聴講生の受け入れ いきがい大学の一部の講座を学生以外に開放し、広く県民に周知した。	5回	50人	5回	40人
エ 彩の国いきがい大学校友会との共催による地域イベントの実施 高齢者の地域活動の促進のため、各種イベントを実施した。	通年	—	通年	—
(2) 高齢者いきがい支援センター事業の実施				
ア シニアサークル作品展示事業 シニアの創作活動を支援するため、シニアの方々の作品展示の機会を提供した。	通年	—	通年	—
イ 健康セミナー 高齢者の健康づくりを支援するため、専門家による健康増進に関するセミナーを開催した。	3回	240人	1回	45人
ウ 世代間交流事業 高齢者と子どもなどが伝統工芸等、各分野の体験をとおして、世代間の交流を図る機会を提供した。	3回	150人	3回	363人
エ 介護予防のためのシニアレクリエーション実践者セミナー 高齢者の体力や認知能力の維持に係る職業や仕事をしている方を対象に、効果的な運動やレクリエーションの手法を学ぶ機会を提供し、地域での指導者を養成した。	8回	320人	4回	181人
オ OB講師活用講座開催事業 いきがい大学卒業後の活躍支援として、OB講師を活用した講座を開催した。	3回	90人	3回	94人
カ 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会「関東・甲信越ブロック会議」の開催 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会「関東・甲信越ブロック会議」の開催県として同会議を開催した。	1回	—	1回	—
(3) 情報誌発行 高齢者の生きがい、健康づくり及び社会参加活動に役立つ情報を提供する情報誌を発行した。	4回	—	4回	—
(4) いきいき創作展の開催 絵画や写真など、高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場を提供した。	4日間	—	4日間	—
(5) 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣 高齢者の国体と呼ばれる第32回全国健康福祉祭(ねんりんピック)和歌山大会に埼玉県選手団を派遣した。	4日間	136人	4日間	132人

3 就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業

実施事業	R元年度(計画)		R元年度(実績)	
	回数等	人数等	回数等	人数等
(1)就業機会の提供				
ア 活動拠点の支援等 ▽各シルバー人材センターの事業や組織運営に関し、助言及び調整を行った。 ▽各シルバー人材センターに対して、国庫補助金(連合交付金)を交付した。	通年 58団体	— 750,317千円	通年 58団体	— 747,637千円
イ 広域的受注調整事業 積極的な営業活動により、就業機会の拡大を図るとともに広域的な仕事の受注の促進を図った。	通年	—	通年	—
ウ 福祉・家事援助サービス推進事業 福祉・家事援助サービスに関する研修を行った。	2回	—	3回	—
エ 労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施 高齢者に多様な就業機会を提供するため、シルバー派遣事業を行った。 ▽シルバー派遣事業運営会議 ▽シルバー派遣事業実務者研修 ▽シルバー派遣事業会員研修 ▽シルバー派遣事業システム研修 ▽衛生管理者試験対策研修 ▽シルバー・ワークトライアルの実施	通年 5回 2回 8回 2回 1回 通年	— — — — — —	通年 4回 2回 9回 2回 1回 通年	— — — — — —
オ 有料職業紹介事業の実施 高齢者に多様な就業機会を提供するため、職業紹介事業を行った。	通年	—	通年	—
カ 高齢者活躍人材確保育成事業 シルバーに関する積極的な周知・広報及びシルバーでの就業体験や就業するための技能講習を行った。 ▽周知・広報 ▽就業体験 ▽技能講習	通年 12回 12回	— — —	通年 54回 12回	— — —
(2)シルバー人材センター・高齢者事業団の支援				
ア 各シルバー人材センターの役職員に対する研修 各シルバー人材センターが主体的に事業運営を行うために必要な研修を行った。 ▽基本研修、専門研修、交流研修 ▽フレイル予防研修	20回	—	25回	—
イ 団体運営、事業運営、会計処理等に関する相談 各シルバー人材センター事業が円滑に運営されるよう、事業運営に関する相談を行った。 ▽巡回相談 ▽弁護士相談、会計相談、社会保険労務士相談、税理士巡回相談、シルバー派遣事業相談 会計監査、相談員による個別相談窓口の設置	20回 通年	— —	20回 通年	— —
ウ 会員、就業機会の拡大に向けた普及啓発 シルバー事業の充実と拡大を図るため、シルバー人材センターの理念と事業を幅広く普及啓発した。 ▽情報誌発行 ▽広報紙発行 ▽普及啓発月間	4回 12回 10月	— — —	4回 12回 10月	— — —
エ 安全・適正就業会議、研修、大会の開催 安全・適正就業を推進するため、研修や会議等を実施した。 ▽安全・適正就業推進会議、安全・適正就業研修、安全就業推進大会、安全指導	6回	—	6回	—
オ シルバー人材センター等運営資金貸付事業 各シルバー人材センター及び高齢者事業団に対し、円滑な運営に必要な資金の短期間の貸し付けを行った。	22団体	140,000千円	20団体	125,000千円
(3)シルバー・ワークステーション運営事業 セミナー等を開催しシルバー人材センター会員となる人材の発掘を行うとともに、事務系職種、人手不足分野など企業開拓を行いマッチングを促進した。	通年	—	通年	—
(4)諸会議の開催 シルバー人材センター連合の運営に必要な会議を開催した。 ▽連合会議、連合理事会、事務局長会議、ブロック幹事会	6回	—	6回	—